大規模災害協定に基づく連絡会（鹿児島ブロック）議事録

日　時：平成２９年６月１日　１４：００～１５：００

場　所：鹿児島地域振興局　５階　大会議室

出席者：（発注者側）

　　　　建設部長　　　立元部長

建設総務課　　久保田課長

　　　　土木建築課　　鶴田課長、用皆技術補佐、林係長、小磯係長

　　　　河川港課　　　福重課長、小倉技術補佐、馬場園係長、本地係長、高吉係長

　　　　日置市駐在　　米丸技術主幹

　　　　（協会側）

　　　　役員　安永会長、山内副会長、福永理事

　　　　連絡責任者　安永　信一郎（正：国土技術コンサルタンツ）

　　　　　　　　　　冨山　志郎　（副：福永技研）

　　　　参加企業　　西帯野茂樹（タカラプランニング）、橋田英生（大和測量設計）

　　　　　　　　　　堂満政勝（国土技術コンサルタンツ）、

村山重憲（三州技術コンサルタント）、

山ノ口正和（大福コンサルタント）、井之上由人（大翔）

松窪孝夫（アイ技研）、森山直貴（オリエントエンジニアリング）

冨永二義（光陽測量設計事務所）、大窪和也（中央テクノ）、

堀之内智治（萩原技研）

1. 開会挨拶

（立元部長）　・大規模災害協定をもとに、測量設計業協会と鹿児島地域振興局が連携して、住民の方々が、安心して安全に生活できるような地域づくりに貢献できますように、ご協力をお願い致します。

（安永会長）　・去年の１６号台風の際には、要請をいただき対応させていただきました。災害がおきない事が一番良い事ですが、今の天候状況を見ていると、災害には常に備えておかなければならないと感じています。備えしても災害時には半分ほどしか実力を出せないと思います。だからこそ、日頃より念入りに準備をしておく必要があると思っておりますので、本日の連絡会もどうぞ宜しくお願い致します。

自　己　紹　介

1. 連絡体制に係る情報交換について
2. 公共土木施設等の状況や防災計画について
3. 支援協力の範囲及び災害時の被害状況調査内容について

　・鹿児島県と鹿児島県測量設計業協会の災害協定の相互が持つ認識の確認のため。鹿児島地域振興局事務局より、鹿児島地域振興局建設部が用意した災害支援協力連絡会の資料の説明が行われた。鹿児島県測量設計業協会理事より鹿児島県測量設計業協会が用意した災害支援協力連絡会の資料の説明が行われた。

1. 意見交換

　　　　平成２８年１６号台風災害対応につて大隅地域振興局より連絡いただいてから調査実施までの経緯説明（鹿児島県測量設計業協会）

Ｑ１　災害支援要請時に台帳図の貸し出しをスムーズにしていただけないでしょうか？

　　　（鹿児島県測量設計業協会）

Ａ１　支援を要請させていただくような大規模災害時は、現場も混乱しております。

　　　そのようにできるように検討致します。（鹿児島地域振興局）

Ｑ２　全域で災害が起きた際に対応はできますか？（鹿児島地域振興局）

Ａ２　災害対応講習会の受講者数も年々増えており、あってはならない事ですが、対応させていただけると考えております。（鹿児島県測量設計業協会）。

Ｑ３　災害支援要請後どのくらいの時間で体制を整えられますか？（鹿児島地域振興局）

Ａ３　平成２８年台風１６号の際には、２時間ほどで体制を整えました。

　　　（鹿児島県測量設計業協会）

　